

提言. 3

世界に誇れる観光資源や農林水産に 関する技術を継承していく風土を育むための カリキュラム導入を推進する。

■ 提言理由 ■

鹿児島市からの人材流出の一因として、若年層が鹿児島に魅力を感じていないのではないという側面は少なからず存在する。

この点、鹿児島市の観光資源や農林水産は、世界に誇れる鹿児島の資産と考える。しかし、この鹿児島の強みを最大限に活用し、鹿児島の素晴らしさをアピールすることが出来ていない現状がある。これは、対外的な側面だけでなく、鹿児島市に住む将来の鹿児島を担っていく子どもたちに対しても同様である。

もちろん、鹿児島市内の学校において、総合教育の場などを用い、子ども達が鹿児島の魅力に触れる機会は一定程度確保されているが、これをさらに促進し、就学児や未来ある青少年に実体験として体験や作業を肌で感じる鹿児島独自のカリキュラムを実施することで、「鹿児島に住み続けたい」という気持ちを醸成し、人材流出に歯止めをかける効果が期待できる。

また、このようなカリキュラムの成功例を対外的にPRすることにより、「鹿児島ブランド」を対外的にアピールする副次的効果も期待できることから、本提言を行う。なお、これに関する具体的な施策案も併せて提言する。

- ① 子どもたちが体験した結果を発表する大会を企画する。
- ② 経済団体などと教育委員会が連携し、
鹿児島の魅力を体験できる総合学習授業の内容を協議する機会を設け、
実際にこれを実施する。

以上